

~~段~~ ~~た~~ ~~た~~
 つつある

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|----|---|----|----|----|---|---|
| れ | 来 | る | り | 動 | を | の | 動 | 教 | 長 |
| る | の | こ | も | を | を | 歴 | 的 | 育 | 野 |
| い | 熱 | と | 、 | 明 | 和 | 史 | な | の | 県 |
| 至 | 心 | で | また | ら | 算 | 』 | 赤 | の | 初 |
| つ | を | あ | 信 | か | 家 | と | 羽 | 研 | 等 |
| た | 実 | る | 郷 | に | た | い | 千 | 究 | 教 |
| 。 | 地 | が | 土 | す | ち | う | 鶴 | 者 | 育 |
| | 研 | 、 | 史 | る | を | 書 | 君 | ・ | 界 |
| | 究 | よ | の | こ | 著 | 物 | は | 指 | の |
| | ん | っ | 上 | と | 述 | を | 、 | 導 | 人 |
| | よ | く | い | は | け | 著 | こ | 者 | 物 |
| | っ | に | い | 、 | た | か | ら | と | と |
| | て | 赤 | 、 | 日 | 。信 | 。 | た | し | し |
| | 、 | 羽 | 十 | 本 | 州 | 。長 | び | て | て |
| | つ | 君 | 分 | 数 | は | 野 | 。信 | 、 | と |
| | い | が | 今 | 学 | 有 | 県 | 州 | 、 | く |
| | ん | 二 | に | 史 | 力 | 和 | は | 、 | に |
| | 大 | 十 | 意 | の | 。 | 算 | 、 | と | 算 |
| | 成 | 年 | 味 | 上 | 活 | | 、 | と | |
| | す | | あ | に | | | 、 | く | |

を、少数専門家のものとせよ、

しかかもこの価値ある研究が興味深い

多数の寫眞を入手がら、小学校六年以上高

等学校下級の~~諸君~~に解かるよう~~な~~、きわめて

易しい文章で、信州和算家の生活・活動をい

きいきと描き出した~~の~~は、何といた喜ばし

いとだらう。

私は、赤羽君の~~交~~誼をえてから十七年~~を~~越~~え~~ん

~~た~~の長い年月の間、君の研究を親しく~~く~~眺

めを~~み~~がら、君と直接~~に~~結~~び~~ついて今日に

及んだ。和算の研究こそは、君~~が~~最も得意~~と~~

するところ、
いあさら私の紹介を要^{するまでも}ないことなのだ。

十年前 ^{すでに}

公にされているし

私~~は~~君が二十年来の情熱を傾けた、この
良心的な~~な~~新著が、郷土^の青少年諸君~~に~~にひ
ろく迎えられ、その尚かつ立派な人物の現わ
れることを、心から期待するものである。

東京府~~並~~並におお

一九五三年八月三日

小倉 金之助